

令和4年度看護職員認知症対応力向上研修実施要項

1. 目的

認知症の人と接する機会の多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本的知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職に対し伝達することで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。

2. 実施主体

宮城県・仙台市・宮城県看護協会

3. 研修対象

宮城県内の医療機関及び介護施設等に勤務する指導的役割（看護管理者および中間管理者又は、その任にある方）の看護職員

4. 研修内容

厚生労働省の標準的なカリキュラムに基づき、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識の習得に資する内容

1) 研修のねらい

- (1) 認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する。
- (2) 個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力（アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法）を習得する。
- (3) マネジメント（人員、環境、情報管理等）の実践的な対応方法及び教育技能を習得する。

2) 到達目標

- (1) 病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる。
- (2) 入院及び退院時支援に必要なアセスメントを実施し、適切に院内外に連携することができる。
- (3) せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる。
- (4) 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる。
- (5) 自施設における看護職員への研修（基本知識相当）を実施することができる。

※この研修は診療報酬「認知症ケア加算2及び3」の施設基準にある「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当します。

5. 開催日・会場・開催方法等

	日時	定員	会場 (集合・配信)	方法
1回目	令和4年8月25日(木)～27日(土) 3日間(9:30～16:30)	各 100 名	宮城県看護協会 会館・看護研修 センター	集合・オンライン(Zoomミーティング)併用
2回目	令和4年10月27日(木)～29日(土) 3日間(9:30～16:30)			

6. 受講料 無 料

7. 修了証書の交付

全研修時間を受講した研修修了者に対し、実施主体の長が修了証書を交付する。

※遅刻や途中退席等により全研修時間を満たさない場合、引き続き研修の受講は可能ですが、その理由を問わず修了証は一切発行されませんので、ご注意ください。

8. 受講修了者所属施設名公表について

地域の認知症医療体制の推進及び認知症の人の受診の利便性の向上を目的として、研修修了者の所属する医療機関名を宮城県又は仙台市のホームページ等に掲載する。

9. 申込について

1) 募集人数 各回 100名予定

定員は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため会場収容定員の2分の1に減少しています。

2) 申込方法

(1) 施設代表者アカウントをお持ちの施設

①当協会ホームページの研修申込システム「manaable(マナブル)」からお申込ください。当研修は「施設申込」のみ受け付けます。「個人申込」は出来ませんのでご注意ください。

②各施設2名以内(各回毎)とします。2名申込の場合は申込時に優先順位を設定してください。定員超過の場合は優先順で受講決定します。協会から改めて確認しませんので、その旨ご了承ください。

③参加方法は次ページを参照の上、集合の場合は「会場集合」、オンラインの場合は「オンライン (Zoom ミーティング)」を選択してください

(2) 施設代表者アカウントをお持ちでない施設

①添付の「申込書」を使用し、FAXまたは郵送でお申込ください。ただし、その場合でも受講者全員の「manaable(マナブル)」のユーザー登録は必須になります。
※申込書に記載の手順をご覧ください。

②各施設2名以内(各回毎)とします。2名申込の場合は優先順位順に記載してください。定員超過の場合は優先順で受講決定します。協会から改めて確認をしませんので、その旨ご了承ください。

③参加方法は次ページを参照の上、「集合」または「Zoom」を選択してください。

(3) 申込の確認

上記(1)(2)共通

「研修申込を受けました」のメールが届きます。

【参加方法】

〈集合〉講師は対面(講師ご来館)を予定しています。ただし、状況によっては Zoom 画面から入られることもあります。演習は GW 形式ですが十分な感染対策を考慮して行います。

〈オンライン(Zoom)〉以下の受講環境をご準備ください。

当研修は演習が多いこと、修了証明書の発行条件は全時間受講であることから、下記の条件の全てを満たしていることが必要です。

○パソコン使用のみ可(各自1台)

○安定してインターネット接続ができること(長時間の受講となりますので、出来るだけ有線の利用をお勧めします。無線の場合は容量制限がない環境での参加をお勧めします)

○Zoom の基本的操作が出来ること

・マイクを ON に出来ること(演習時に発言出来ること)

・カメラで顔を出すことができる(出席確認、演習時に必要。パソコン付属のもので可)

○Word が使用できること(演習時に使用)

※ 接続確認テストは行いますが、当日のトラブルや Zoom の操作等については当協会では対応出来かねますので予めご了承ください。

3) 締切 1回目 令和4年7月1日(金)

2回目 令和4年9月1日(木)

※なお、締切以降の受講者の追加及び変更については受付できません。

4) 受講決定

①申込締切日から1週間程度で受講可否の連絡がメールが届きますので、manaable にログインし、申込履歴から確認して下さい。「受講可→承認」「受講否→非承認」

②受講決定した方には、研修の連絡等メールが届きますので、随時確認して下さい。

10. プログラム・主な内容・講師

1日目

9:00 開場・受付

9:20 オリエンテーション

9:30~16:30

時間	主な内容	講師
9:30~11:00	【看護管理】 ・管理者による取り組みの重要性 ・認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 ・病棟内、部門内での情報共有、人の配置 ・情報共有、退院調整、身体拘束、治療同意について基本的な理解	佐藤 直也氏 (東北福祉大学 せんだんホスピタル 看護部長)

11:00～12:30	【地域連携】 ・退院調整での課題 ・地域連携（在宅医療、地域包括ケアの知識、退院時の情報提供、介護施設との連携）	川井 丈弘氏 (いずみの杜診療所地域連携室 ゼネラルマネージャー・ 精神保健福祉士)
12:30～13:30	昼 食	
13:30～16:30	【認知症病態生理】 ・急性期病院での認知症の現状、認知症の病態、症状 ・認知症の疾病経過の理解 ・認知症患者の世界観の理解、中核症状の理解、基本的な評価方法（アセスメント） ・せん妄の基本的な知識、予防、発見	古川 勝敏氏 (東北医科薬科大学病院 認知症疾患医療センター長)

2 日目

時間	主な内容	講 師・演習支援
9:30～12:30	【対応力向上】 ・認知症の基本知識 ・認知症の人へのケアポイント ・認知症のコミュニケーション ・せん妄の対策 等	老人看護専門看護師 認知症看護認定看護師 (調整中)
12:30～13:30	昼 食	
13:30～16:30	・事例検討 アセスメント 看護計画立案	

3 日目

時間	主な内容	講 師・演習支援
9:30～12:30	【マネジメント】 ・認知症が絡む問題事例を収集し、見返し、フィードバックをする体制 ・自施設の現状の検討	老人看護専門看護師 認知症看護認定看護師 (調整中)
12:30～13:30	昼 食	
13:30～16:30	・教育技法、エンドユーザー研修を実施する上でのポイント ・施設内での目標設定・研修計画の立て方 ・指導案作成、研修実施計画の立案 等	

※スケジュールは変更することもあります。

【問合せ先】 宮城県看護協会 教育部
TEL 022-273-3923